

# Competitors Sub Committee (CSC) 2014 参加報告

Lausanne, Switzerland  
3月20日 14時～18時

副島弘壮(FB738)

このサブコミティーは、競技会参加選手の意見を集約し、他のサブコミティーに反映することにより、競技会の向上を目指している。意見収集のため、毎年、アンケートも実施しており、今年は日本からは、アメリカに次ぐ数のアンケート協力が得られた。詳しい活動内容は以下を参照。

<http://www.fai.org/cia-about-us/cia-organisation/121-cia/34742-cia-competitors-subcommittee>

## メンバー

- Andrew Baird (USA) – 委員長
- David Bareford (UK)
- Thomas Fink (GER)
- Sabrina Handl (GER)
- Paolo Oggioni (ITA)
- Gerald Sturzlinger (AUT)
- Maury Sullivan (USA)
- Tadas Gegevicus (LTU)
- Hiromori Soejima (JPN)

## World Ranking List 管理者

- Gerald Sturzlinger (AUT)
- Uwe Schneider (GER)

## 1. ワールド・ランキング・リスト更新方法の変更

過去 5 大会の世界選手権の成績、各 NAC から提出された国内ランキングを基に、ワールド・ランキング・リストが更新、公開されているが、各 NAC からの国内ランキングの提出方法が変更される。

オンラインで CSV ファイルを提出することにより、よりスムーズな更新を可能にする。

国内ランキングの提出は、各 NAC の責任において行われなければならないが、日本も、スポーツ委員会内で、担当者を決める等、忘れずに提出をお願いしたい。詳しい提出方法は、後ほど案内されると思うが、実際にデモンストレーションを見てきているので、必要であれば提出時にサポートしたい。

## 2. 競技規定、変更の要請

GPS ロガーを採点に使用する競技会において、2D スコアリング帯の設定を必須とすることを求める。

対地 250ft – 500ft の 2D スコアリング帯を設定することにより、選手は地上付近まで急降下を行う必要がなくなり、地上構築物との接触リスクを軽減させることが可能である。

ターニング・ベント(サイド・ベント)の限られた範囲内での使用を認めることを求める。

CIA ロガーを使用するにあたり、進行方向の確認が疎かになることを避けたい。ターニング・ベントを使用し、ロガーを進行方向に留めることにより、安全確認が疎かになるリスクを軽減する。そもそも、CIA ロガーの使用に関係なく、アメリカからの強い要望がこの数年あがっていた。BFA が使用している競技規定では、長年ターニング・ベントの使用を認めている。

ゴールから 200m 以内の着陸をどのように扱うべきかの議論。

GPS ロガーを採点に使用する競技会においての、競技着陸規定の見直しを求める。

ディレクターにより設定されたターゲットが、公開されたコーディネートと大きく違った場合の扱いについて。

ディレクターが公開したコーディネートから 200m 以内にターゲットが設定されなかった場合、フライト完了後、ディレクターにタスクをキャンセルする選択肢を与えることを求める。

### 3. 2014 世界選手権に関して

ディレクターと協議の結果、2D スコアリング帯を設定することに合意した。

今回のインビテーション・プロセスの混乱を受け、スポーティングコードの記載をクリアーにすることを求める。  
(Section1 WG)

今後、立候補時に、各選手の支出が想定される参考費用予想(宿泊、レンタカー、LPG 等)の提出を求める。  
(Event Development Service)

今後、立候補時に、その大会の予算概要を提出して貰うことを求める。(Event Development Service)各デリゲートが投票する 1 つの基準となり得る。

### 4. 会長 JC Weber 氏から昨年の CIA ミーティングであった提案に関して

ワールド・ランキング・リストを必須とすることを認めるが、大会の選考基準とすることは認めない。

世界選手権、大陸選手権、ワールド・エア・ゲームを開催するにあたり、プレ大会の開催を必須とする。

### 5. 2015 年のアンケート内容に関して

GPS ロガーの競技採点使用に関して、エレクトリック・マークを使用するべきか、単純にトラック・ポイントで採点されることが好ましいか?

MMA の許容される最小サイズ、明確な境界を使用しての設定を求めるべきか?

### 6. 2014-2015 年の活動、検討内容

競技者間の ML を設定したい。

email での異議申し立てを認めるべきか?その際の競技規定上の時間制限の扱い、起こりうる問題に関して、スコアリング WG と共に検討する。

### 7. 今年度の活動メンバー

- Andrew Baird (USA) 委員長
- David Bareford (UK)
- Thomas Fink (GER)
- Sabrina Handl (GER)
- Paolo Oggioni (ITA)
- Gerald Sturzlinger (AUT)
- Maury Sullivan (USA)
- Tadas Gegevicus (LTU)
- Hiromori Soejima (JPN)
- Sam Parks (USA) 新メンバー